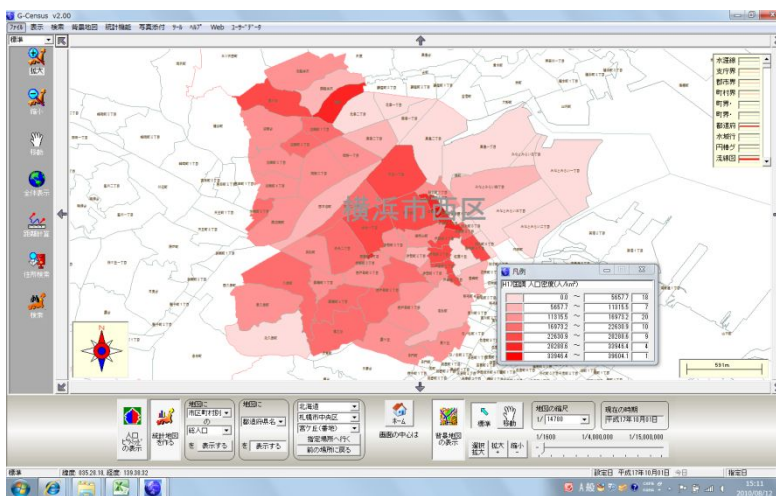


展示会場の各出展者の展示ブースでは、様々な体験イベントが行われます。以下は、そのごく一部の紹介です。是非、体験してください。

地域のすがたが一目で分かる！統計 GIS ソフト『G-Census』

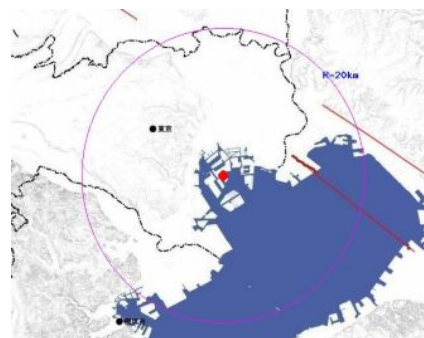
統計 GIS ソフト『G-Census』で統計地図を作ってみませんか？ G-Census には、国勢調査の町丁・字等別のデータや 1960 年からの市区町村別のデータ、事業所・企業統計調査の市区町村別のデータが全国について収録されており、統計地図が簡単に作成できます。あなたの町の再発見の旅に出ませんか。ご参加を心よりお待ちしております。



(財) 統計情報研究開発センター 【ブース「つくる」No.22】

自分だけの防災情報をゲットしよう！

みなさんの会社やご自宅の住所から「地震、液状化、地すべり、浸水、地盤沈下」などの自然災害リスクを判定し、レーダーチャート付きのレポートを無料進呈します。防災知識を学ぶチャンスです。（社）全国地質調査業協会連合会／(株)ジオネット・オンライン) 【ブース「つくる」No.36】



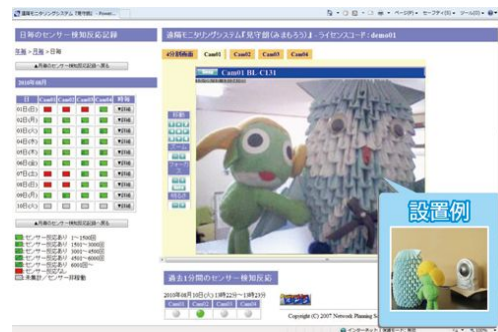
土中の IC タグを見つけ出せ

土の中に埋められた IC タグを探しだせることを体感して下さい。仮想の道路上を、実際の計測器を「持って」、 「歩いて」、 「探して」下さい。土中の IC タグから情報を吸い上げられることも体感できます。（(株)近代設計／小松物産(株)） 【ゾーン「まもる」No.49】



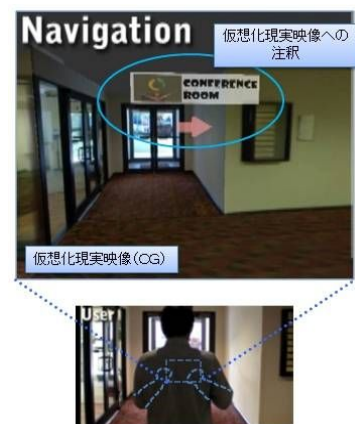
リアルタイムで発信！みて、まもる、『見守朗』

『見守朗』は、カメラとインターネットを組み合わせた遠隔モニタリングシステムで、365日24時間リアルタイムの映像をご覧いただくことができます。監視・防犯だけではなく、ライブ映像の発信など様々な場面でご使用いただけます。是非、実際に触れて、体験してみてください。（ネットワークプランニングサービス(株)） 【ゾーン「まもる」No.S59】



屋内歩行者ナビサービスを体験しよう

歩行者デッドレコニング（PDR）と呼ばれる歩行動作や歩行の向きを計測する技術を用いて、屋内などのGPS情報が得られない場所（今回は展示会場内）において、ナビサービスを体験していただきます。会場の写真から屋内3Dモデル（地図）を作り、そのモデルと体験者の位置や向きを携帯端末や展示ブースの大型モニタに表示します。（(独)産業技術総合研究所） 【ゾーン「ひろがる」No.6】



簡単☆自慢の写真を投稿してマイWEB図鑑を作っちゃおう！

携帯やデジカメに保存されている自慢の「エコ写真」を投稿・公開して、他の利用者の写真と組み合わせ、その場で「マイ☆エコWEB図鑑」を作ろう！アカウントが発行されるので、帰宅後も図鑑作成・追加編集ができます。楽しみ方は「みんなで作る図鑑」・「私だけの図鑑」の2通り。会場参加者にはエコバックをプレゼント！（(独)国立環境研究所） 【ブース「まもる」No.48】



家が、自動車が沈んでいく……液状化現象を体験してみよう！

大きな地震が起こると必ず発生する液状化現象。よく聞く言葉だけど、実際にどんなことが起こるの？ 砂が水みたいになるってどんなこと？ そんなあなたの疑問に答えます。さあ、ハンドルを廻して液状化現象を体験してみよう！ (応用地質(株)) 【企画展「土木・建設を支える G 空間」】



あなたの住んでいるところの地盤を調べてみよう！

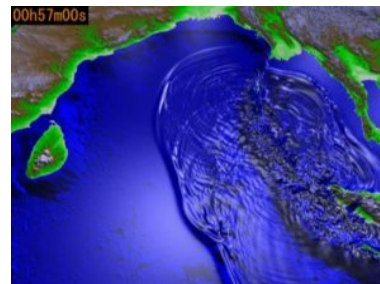
『OYONavi』は、ある土地が、これまでにどんな使われ方をしていたか、地震が起きたときにどれくらい揺れるのか調べることができます。あなたが今住んでいる場所は、昔は海だったかも？ (応用地質(株)) 【企画展「土木・建設を支える G 空間」】

検索したデータ	
土地履歴情報	
検索した場所	
東京都	
検索結果	
1927～1935年	河川・湖沼・海
1952～1957年	道路・防衛施設等
1965～1966年	道路・防衛施設等
1974年	住宅地・商業用地
1984年	住宅地・商業用地
1994年	住宅地・商業用地

検索したデータ	
地盤リスク情報	
検索した場所	
東京都	
検索結果	
震度リスク	E
液状化リスク	C
地盤沈下リスク	E
微地形区分	305

えっ！？ 電脳空間に水？

最先端コンピューター・シミュレーションの世界をご紹介します。津波や洪水などから人々を守るため、コンピューター・シミュレーションが行われています。どんな恐ろしいことが起きるのか、コンピューターを使えば見ることが出来ます。プロが使っているソフトに触れて、その世界を覗いてみましょう。 (日本工営(株)) 【企画展「土木・建設を支える G 空間」】



横浜港の「そこ(底)が知りたい！」

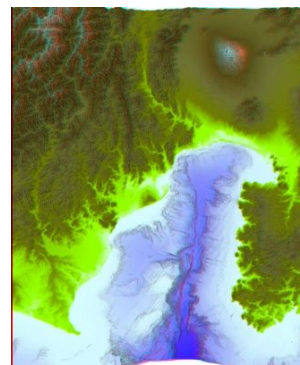
海、河川、ダムでの深浅測量を全長 1 m の「自律走行無人リモコンボート」を使って実体験していただきます。旧来の人が乗る船と違い、どなたでも簡単に水の底の形状を見ることができます。また見たい場所を緯度経度、XY で入力しておけば、船が自分でその測線を自動的に走ります。是非この機会にご自分で触ってみてはいかがでしょうか！



(コデン(株)) 【企画展「海の G 空間」】

太平洋沿岸海底地形を 3D で見る

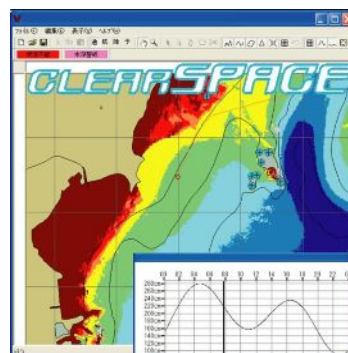
陸上に山や川があるように、海底にも山や川があります。太平洋沿岸（相模湾～九州東方沖）の海底の地形の様子を、3次元立体視でご覧いただきます。音波を使ったマルチビーム測深という方法で測量しています。海底の活断層による大地震発生の予測に使われます。 ((株)海洋先端技術研究所) 【企画展「海の G 空間」】



沿岸域の水深変化を体験する

海の深さ(水深)は、潮の満ち引きで変化します。水深が浅いところを航行する船は、潮の満ち引きをみながら、船底を擦らないように注意しなければなりません。潮の満ち引きから水深の変化を表示するソフトを使って、水深の変化に注意しながら、船で航行する体験をしてみましょう。

((株)海洋先端技術研究所) 【企画展「海の G 空間」】



ハンディスキャナで建築レリーフの計測

3D レーザは、離れた位置から短時間で広範囲の三次元座標及び色情報を取得できる計測機器です。会場では、ハンディスキャナを用いた建築レリーフの計測実演をいたします。

((株)計測リサーチコンサルタント) 【企画展「時空を超えて実感～3D ワールド!」】

MR (ミクスト・リアリティ) 技術を使って、現実と仮想を融合

巨大な世界遺産の CG から、様々な遺跡の点群データ、実際に目に見えない流体を可視化した展示まで、ミクスト・リアリティ技術の可能性を示します。会場にバーチャルな恐竜を登場させ、特に小中学生の方に、「時空を超えた」ミクスト・リアリティ・ワールドを楽しんでいただきます。

(キヤノン(株)) 【企画展「時空を超えて実感～3D ワールド!」】



目指せ！ G 空間マイスター（仮）

空間情報のひとつである「地図作り」を体験できます。約 40 分の体験プログラムでは、地球を測る「測量士」さながらの衣装に身を包み、2 つのミッションに挑戦していただきます。ミッションの中身は残念ながら当日まで公開できませんが、学校では教わることのない地形の測り方や、地形図づくりの達人によるデモンストレーション、参加者による横浜みなとみらいの地図づくりなど、子供から大人まで参加者全てのみなさまにとって発見と興奮の体験になること間違いありません！ プログラムを最後まで体験した方には、修了の証に「マイスター認定書」をお渡しします。参加いただける人数に制限があるため、ご来場の際にはお早めにご予約ください。（朝日航洋(株)／アジア航測(株)／国際航業(株)） 【企画展「安心・安全な社会に役立つ空間情報技術」】

火山防災シミュレーター

最新の測量技術を使用して作成した模型の表面にシャンプーを流して、実際に火山が噴火した場合どのように溶岩が流れるのかを実験します。溶岩流の流れる方向は地形によって大きく影響を受けること、溶岩の量や火口の位置によって危険な範囲が変わることを実感できます。（アジア航測(株)）

【企画展「安心・安全な社会に役立つ空間情報技術」】



超小型無人飛行機 UAV (Unmanned Aerial Vehicle)

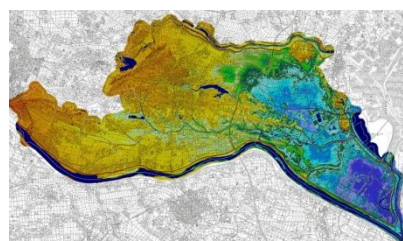
空間情報計測で利用するヘリコプターです。事前に飛行プログラムを組むことで自律飛行できます。また、上空から画像を伝送し、地上モニターで確認しながら計測できます。会場では、実際にどのような動きをするのか、どのような映像を撮ることができるのかをご紹介します。（国際航業(株)）

【企画展「安心・安全な社会に役立つ空間情報技術」】



標高立体パズル

地表面の高低差を色分けしたパズルです。ちょっと難しいけどチャレンジしてみてください。（朝日航洋(株)） 【企画展「安心・安全な社会に役立つ空間情報技術」】



クイズラリー

次の展示会場で、クイズラリーが行われます。景品がゲットできます。

- ・企画展「測量機器の今昔」
- ・企画展「海のG空間」
- ・企画展「安心・安全な社会に役立つ空間情報技術」

他の展示ブースでもクイズが行われますので、当日は、ブースをあちこち覗いてみてください。